



勉強のこと

夏休みの終わりから勉強を始めてもなかなか捗らなかつたり、今回の宿題テストが思うように出来なかつたりしたからだろうか、何人かの人から「(現代文・古典を) どう勉強したらよいのか?」という質問を受けた。質問をした人は、何かイイ答えを当然期待していると思うが、そんなイイ答えがあったら誰もがそれに従っているわけで、残念ながらうまい方法ない。ただただコツコツと授業を活用するしか方法はないのである。

ところが、こういう質問をする人に限って、実は授業を大切にしていない場合が多い。授業中に、積極的に目や耳を使い、手を使い(メモする、辞書を引く)、つまり、頭脳を総合的に使っているかということが重要なのである。授業中に休止モード(睡眠モード?)に入っているとしたら、結局は何をやっても成績は伸びないだろう。自分で勉強するのと、人から教えてもらうのとでは、後者の方が圧倒的に効率がよい。先ずはそのチャンスを生かす姿勢を持つことが大切だ。

で、主人の体験談を一つ。昔、主人が高校生だった時、友人の一人が怪我をして数ヶ月入院することになった。そこで、何人かが集まって、その子のためにノートをとってあげようということになったらしい。主人は英語が得意だったので、英語の係になりたかったようだが、ジャンケンで負けて、なんと最も不得意な物理担当になってしまったという。ここで主人もなかなか偉いなあと思うのだが、係になった以上は仕方ないと腹をくくり、

ノートを取るだけでなく、質問されたら答えられるようにと思って、必死で授業を聞くようにしたのだそうだ。そしたら、なんとその次のテストで、クラスのトップクラスの点数を取ったというのである。(なお、友人の退院後は、再びクラス最下位レベルの得点に戻ったそうだが…笑)

つまり、高校程度でやっていることは、基礎的な「勉強」なのであって、難しい「学問」でも何でもない。だから、君たちくらいの基礎学力がある諸君なら、授業さえキッチリ受ける姿勢をもって真剣に臨めば、ほぼどの科目もできるようになるものなのである。ただ、実際問題としては時間的な制約があるから、予習・復習に重点をおける科目と、そうでない科目が出てきて、すべての科目が出来るようになるというのは難しいという現実はあるだろうが…。

しかし、繰り返すが、高校で学習している内容は、きっちり授業を受ければ必ず理解できるレベルのものであり、また、そう思って授業に取り組むべきだということである。

新しく出会う未知の問題が解けるのは、それまでに学習したことをもとにして、それを応用するからである。ということは、新しい問題が解けるようになるためには、それ以前に学習したことを完璧に理解する以外に方法はない。だから、不得意な科目ほど復習を大切にすることだ。日々の授業を大切に、復習でしっかりと暗記して、一步一步前進あるのみである。頑張ろう。